

(様式 6 号)

## エックス線装置に関する構造設備概要書

診療施設名： \_\_\_\_\_

1 エックス線装置の台数、製作者名および形式

2 エックス線高電圧発生装置の定格出力

台数	台						
製作者名							
形式							
製造年月日	年 月 日			年 月 日			
装置のタイプ	固定式 (移動不能な物) 可搬式 (移動可能な物) ポータブル			固定式 (移動不能な物) 可搬式 (移動可能な物) ポータブル			
高電圧発生装置 の 定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
	長時間	kV	mA	—	kV	mA	—
	短時間	V	mA	秒	kV	mA	秒
	蓄電式	V	$\mu$ F	—	kV	$\mu$ F	—
主な用途	透視 ・ 撮影 ・ 治療 その他 ( )			透視 ・ 撮影 ・ 治療 その他 ( )			
設置時の状態	新品 ・ 中古品			新品 ・ 中古品			
設置年月日	年 月 日			年 月 日			

3-1 エックス線装置の放射線障害防止に関する構造設備の概要

ア エックス線装置の共通事項

照射筒	有 ・ 無	有 ・ 無
絞 り	有 ・ 無	有 ・ 無
エックス線管容器及び 照射筒の漏れ放射 線量	接触可能表面から 5cm の距離 ミリ(マイクロ)グレイ/時間 以下 エックス線管焦点から 1m の距離 ミリグレイ/時間 以下	接触可能表面から 5cm の距離 ミリ(マイクロ)グレイ/時間 以下 エックス線管の焦点から 1m の距離 ミリグレイ/時間 以下
総ろ過量	mm アルミニウム当量	mm アルミニウム当量

(様式6号)

イ 透視用エックス線装置

透視用画像モニターの種類	蛍光板、テレビモニター、 その他 ( )	蛍光板、テレビモニター、 その他 ( )
透視時間積算・警告音発生タイマー	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
受像器通過後の放射線量	受像器の接触可能表面から10cm の距離 マイクログレイ/時間	受像器の接触可能表面から10cm の距離 マイクログレイ/時間
透視の最大受像面を3cm超える 接触可能表面の放射線量	接触可能表面から10cmの距離 マイクログレイ/時間	接触可能表面から10cmの距離 マイクログレイ/時間
被照射線体周囲の散乱線防護	有 ・ 無	有 ・ 無

ウ 撮影用エックス線装置

利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の直径 (口内法撮影用エックス線装置の場合)	センチメートル	センチメートル
エックス線管焦点及び被照射体から作 業従事者までの距離(移動型、携帯 型、手術中のエックス線装置)	メートル	メートル

エ 治療用エックス線装置

利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
インターロック機能付ろ過板保持装置	有 ・ 無	有 ・ 無

3-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1週間の延べ撮影回数	回	1週間の延べ透視時間	時間
診療施設の概要	形態	独立家屋 ( 階建) マンション等の集合家屋 ( 階建の 階) その他 ( )	
	構造	耐火構造 ( ) 木造 ・ 木造モルタル又はプレハブ その他 ( )	

(様式6号)

エックス線診療 室の概要	形 態		エックス線診療専用の室、診療室と兼用の室、手術室と兼用の室、 その他（ ）		
	操作室の有無		有 ・ 無		
診療 室の 遮へ い物 等の 概要	区 分		材 料	厚 さ	放射線防護に関する措置
	天 井				
	床				
	周囲の 遮へい 物等(壁 を含む)	東側			
		西側			
		南側			
		北側			
出入り口の扉					
診療室の遮へい物の外側 における最大放射線量		エックス線診療専用の室 エックス線診療兼用の室		ミリシーベルト／1週間 以下 マイクロシーベルト／1時間 以下	
標識の有無		有 ・ 無			
注意事項の掲示		有 ・ 無			

## 3-3 診療施設における放射線障害防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界に おける最大放射線量	ミリシーベルト／3か月間
	立入制限措置	遮へい物(材質等： )による区画 白線による区画 その他( )
	標識の有無	有 ・ 無
敷地内の居住区域 および敷地の境界	人が居住する区域に おける最大放射線量	マイクロシーベルト／3か月間
	敷地の境界における 最大放射線量	マイクロシーベルト／3か月間
その他	診療施設の見取図	(別 添 1)
	エックス線装置を使用する室の 遮へい物等の配置状況	(別 添 2)

(様式6号)

### 3-4 その他の放射線障害防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋 ( ) 対)、防護エプロン ( ) 人分) ネックガード ( ) 個)、防護メガネ ( ) 個) その他 (名称: ) 数量: )
エックス線診療従事者等の放射線測定器の保有状況	フィルムバッジ ( ) 個)、ポケット線量計 ( ) 個) 蛍光ガラス線量計 ( ) 個)、ルシールバッジ ( ) 個) その他 (名称: ) 数量: )
エックス線診療室等の放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名: ) 数量: )
線量測定方法	実測 ・ 計算
実測測定器名	
その他の措置 (健康診断等)	

### 4 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏名	年齢	エックス線診療に関する経歴

#### 【注意事項】

- 1 電離放射線漏えいエックス線量測定報告書を添付すること。
- 2 エックス線診療室の平面図及び側面図を添付すること。
- 3 エックス線診療室の平面図及び側面図は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の各壁の外側までの距離 (メートル) 並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。
- 4 エックス線診療室の平面図及び側面図中には、管理区域の標識等の位置を記入すること。
- 5 エックス線診療に関する経歴欄には、獣医師がエックス線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。